

矢作川流域圏懇談会通信

R7 フィールドワーク vol.1



発行日：令和7年7月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆「つくラッセル」と「押井町普賢院」の視察

廃校となった小学校の校舎を活用した「つくラッセル」の場の在り方と成り立ちについて説明していただきました。

また、「押井町普賢院」では暮らしの場としての山村を次世代につなぐ「自給家族 & Open Common」の取り組みについて説明していただきました。

日時：令和7年6月28日（土） 9:30～11:30

場所：豊田市 旭八幡町・押井町

案内：戸田友介氏・鈴木辰吉氏

参加者：22名（事務局を含む）



◆つくラッセルの記録

つくラッセルは、廃校となった築羽小学校の校舎を活用し、多くの人々がつながり、つどい、はたらき、つくる場所となっています。現在に至るまでに、地域住民のチーム崩壊といった困難を経験しながらも、人々との関わりを大切に、多くの事業を創造してきました。

多くの人を巻き込んだ事業を推進してきた結果、全国的な人口減少・少子高齢化の傾向とは対照的に、築羽自治区の将来人口推計は、横ばいであり、特に子供の人口は増加傾向にあります。

今回は、戸田氏のつくラッセルについて説明していただいた後、施設内の様子を視察しました。



戸田氏によるつくラッセルの説明



施設内の視察

◆押井町普賢院の記録

押井町普賢院にて、消費者と生産者が3～10年のお米の長期栽培契約を結び、共に豊かになることを目指す「自給家族」という取り組みを説明していただきました。

2020年産から始まった自給家族は、2025年産は330家族まで広がっております。

また、過疎化などにより、管理が行き届かない森林や農地を、集落住民とそこに価値を見出す人々がつながり、みんなで決めたルールの下で適切に管理しながら活用する「Open Common」という取り組みも説明していただきました。

今回は、鈴木氏に押井の里の取り組みを説明していただいた後、押井町普賢院周辺の森林施業の様子を視察しました。



鈴木氏による押井の里の説明



森林施業の視察

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会 事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課

TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課（cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp）までお送りください。



矢作川流域圏懇談会通信

R7 フィールドワーク vol.2



発行日：令和7年9月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆平谷村高嶺の皆伐事業の視察

平谷村高嶺のカラマツ皆伐事業の現場を視察しました。
平谷村における皆伐事業の実状や、当該現場の事業内容、架線集材システムについて説明していただきました。

日時：令和7年8月2日（土） 10:00～11:00

場所：平谷村 高嶺

案内：佐々木氏（飯伊森林組合）

参加者：28名（事務局を含む）



◆フィールドワークの記録

今回のフィールドワークでは、林齢 60 年のカラマツ皆伐事業の現場を視察しました。現場では既に作業道が整備され、集材の準備が進められていました。

当該現場の集材方法は、システムラジコンを使用し、荷掛け、搬送、荷卸しを安全な場所から無線操作を可能にした架線集材システムが用いられています。従来の集材方法は、作業員を集材機の周囲に配置する必要があり、危険であり、実際に事故が発生することもありました。そのため、作業効率と作業安全性が高い集材方法として、架線集材システムを用いています。

林業従事者の減少などが原因で、一度集材機を操作する技術力が衰退する事態になりました。そこで、平谷村の協力のもと、当該現場で技術力の向上を目指し、架線集材システムを活用した皆伐事業を実施することとなりました。

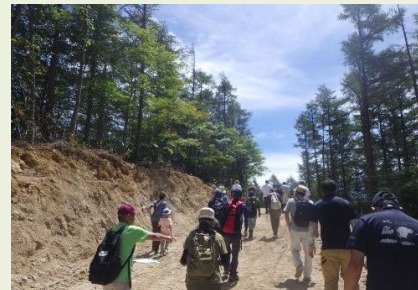
今回、佐々木氏に現場状況や、集材方法の詳細を説明していただきながら、技術力の伝承に関わる貴重な現場を視察しました。



佐々木氏による事業内容の説明



FWの様子



集材システムで使用する機械



伐採後の樹木の様子

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会 事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課

TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課（cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp）までお送りください。



矢作川流域圏懇談会通信

R7 フィールドワーク vol.3



発行日：令和7年11月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆恵那市リコーえなの森の視察

恵那市にあるリコーえなの森を視察しました。

リコーエレメックス恵那事業所に隣接する広大な森を散策させていただき、リコーえなの森が取り組んでいる森づくり活動や、学びの場としての活用方法を説明していただきました。

日時：令和7年10月4日（土） 9:00～11:00

場所：恵那市

案内：曽我氏（リコーえなの森中山道里山協議会）

参加者：19名 ※事務局を含む



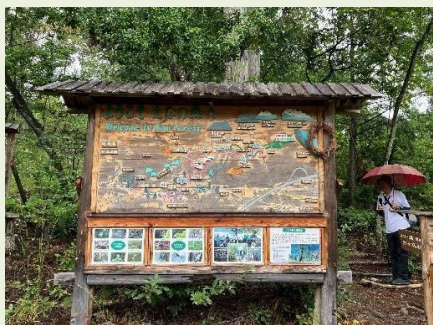
◆フィールドワークの記録

リコーえなの森では、遊歩道の補修、川を横断する橋の作成、コンクリートを使用しない砂防工事に加え、子供の遊び場としての虫の棲み家、生物調査といった生物保全活動など、幅広い活動が行われています。

また、学びの場としても活用されており、地元小学校の課外授業では、どんぐりや落ち葉など自然の素材を使った遊びの体験ができます。さらに、農業高校と共同で、害鳥獣と共生しながら農林業の被害を避ける研究も行っています。

リコーえなの森は「自然共生サイト」の認定されており、先進的な活動が高く評価されています。「自然共生サイト」とは、環境省が認定する民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域のことです。

今回のフィールドワークでは、曽我氏に説明をしていただきながら、遊歩道を歩き、森づくり活動の一貫として創られた空間や施設を視察しました。



曽我氏による活動の説明



生物多様性保全の取り組み



子供の遊び場の様子



センターハウスの様子

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会 事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課

TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課（cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp）までお送りください。



矢作川流域圏懇談会通信

R7 フィールドワーク vol.4



発行日：令和8年2月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆桑谷山の視察

未来へつむぐ岡崎の水プロジェクトの活動拠点である桑谷山を視察しました。活動拠点としての今後の活用方針や、現状の課題等について説明していただきました。また、視察後に桑谷山の活用方針について意見交換しました。

日時：令和8年2月7日（土） 10:00～12:00

場所：岡崎市 桑谷山

案内：成瀬氏（岡崎市上下水道局経営管理課）

参加者：17名（事務局を含む）



◆フィールドワークの記録

今回のフィールドワークでは、未来へつむぐ岡崎の水プロジェクトの活動拠点である桑谷山を視察しました。散策しながら、成瀬氏より活動拠点としての今後の活用方針や現状の課題等について説明していただきました。

桑谷山では、森の健康診断を実施する予定であり、調査箇所の予定地について説明していただきました。参加者の方からは、半永久的に観察していくのであれば範囲内の木に全て番号をつけて計測する案や、人工林と天然林による調査方法の違いに注意することなどの意見交換がありました。また、活動拠点として、山道の整備や間伐の実施を予定していることを説明していただきました。

散策の最終地点である展望台では、今後の活用方法について意見交換を行いました。参加者からは、安全面に関する留意事項や、プロジェクトに関心を持ってもらうための方法などが挙げられました。

今回の視察は、未来へつむぐ岡崎の水プロジェクトの活動拠点である桑谷山を視察し、今後の活用方針について、参加者を交えて協議する貴重な機会となりました。



成瀬氏による桑谷山の説明状況



意見交換の様子

◆話し合いでの主な意見

- ・シカの食害対策として、カメラ調査やシカ糞などの記録を活用することが有効である。また、山を管理している岡崎市中山間政策課に相談すべきである。
- ・森の健康診断の調査箇所がある程度決まっており、半永久的に観察するのであれば、区画を決め、範囲内の木のすべてに番号をつけて計測することで、より正確なデータを収集することが可能となる。
- ・水辺に近い木は根が浅いため倒れやすく、間伐の対象として適している。一方、尾根付近の木は比較的強く、倒れにくい傾向がある。
- ・間伐作業は、森林組合などの専門家に委託することが望ましい。
- ・展望台から見える景色の説明を記載した地図を設置してみてもどうか。
- ・未来へつむぐ岡崎の水プロジェクトのコンセプトを伝えるため、散策道にQRコードを設置し、かざすと解説が表示される学習ポイントを設けることを提案する。
- ・森を歩く際はヘルメット着用の義務付けや、人が歩くところの枝の剪定などの安全対策を強化すべきである。
- ・散策中に危険を感じる場所があったため、導線の見直しや手摺やロープの設置を推奨する。

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会 事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

